

第20回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：令和元年5月22日(水) 13:30～14:30

場所：広陵町役場3階大会議室

参加者：会長（山村委員）、副会長（乾委員、代理：久保）、奥本委員、竹村委員、伊藤委員（代理：小西）、西村委員（代理：吉田）、霜永委員（代理：中森）、島中委員（代理：今谷）、金口委員（代理：桑名）、井上委員（代理：丸山）、米田委員、古田委員、（委員12名）、事務局4名、

議事概要

1 開会

本日、17名のうち12名の参加を確認しており、会議は成立しています。

2 会長挨拶

前回は、3月28日に10月1日以降の運行計画について、承認をいただいています。本日は、先日承認をいただいた運行計画を基に、運行ダイヤや停留所名称を審議していただきます。また、平成30年度の事業報告及び決算報告が事務局からありますので、審議いただき、貴重なご意見をいただきたいです。

3 議題

（1）令和元年10月1日以降の広陵元気号運行ダイヤ（案）について

事務局：資料説明

会長：ご質問、ご意見を頂戴したいと思います。

委員：資料1-1 中央幹線の1便を無くすということですか

事務局：今回お示ししている資料1-1にある1便を無くし、2便を1便へ変更します。また、運行開始時間を7:25から7:10もしくは7:15頃に変更する予定です。理由としては、参考資料5の1枚目にある中央幹線1便の利用状況を見ても利用が少なく、広陵町役場発でかつ葛城営業所から近鉄高田駅を通過してバスが回送されていることから運行を効率化させるためです。

また、廃止した1便については、最終便に回し、8便の運行は、近鉄高田駅からはしお元気村へ運行するダイヤとなっていますが、参考資料5の中央幹線9便18:12発の利用状況を見ても、中央公民館でほとんどの利用者が降りていることから、新たなダイヤでは、中央公民館止まりで運行し、中央公民館から8便の逆ルートで運行する便を追加すればよいのではないかと考えます。

委員：そうすると資料1-1の2便の広陵町役場7:44発となっているが、広陵町役場発が早くなるため、南部支線1便の広陵町役場7:25発と被ってしまう。それについては、どう考えているか。

事務局：確かにおっしゃるとおりで、仮に中央幹線を近鉄高田駅7:10発で運行すると7:29発となり被ってしまうため、受託者と協議した上で調整をします。

会長：他に意見はございませんか。承認することにご異議ございませんか。

（意義なし）

承認とさせていただきます。

(2) 令和元年10月1日以降の広陵元気号停留所名称(案)について

事務局 : 資料説明

会長 : 質問、ご意見、ございませんか。

会長 : 承認で意義なしでよろしいか。

(意義なし)

承認とさせていただきます。

(3) 平成30年度事業報告(案)について

事務局 : 資料説明

会長 : 質問、ご意見、ございませんか。

会長 : 承認で意義なしでよろしいか。

(意義なし)

承認とさせていただきます。

(4) 平成30年度決算(案)について

事務局 : 資料説明

会長 : 質問、ご意見、ございませんか。

会長 : 承認で意義なしでよろしいか。

(意義なし)

承認とさせていただきます。

4 その他

会長 : その他については、ご自由をお願いしたい。

委員 : ダイヤ及びルートが改正により利用者が増えれば良いですね。

会長 : 全てのニーズを満たすことは難しいですが、年々利用者が増えていることから、広陵元気号も利用が浸透してきていると思います。

委員 : 元気号の収支はどのようなもののでしょうか。100円でやっていけるのでしょうか。

事務局 : 10月1日以降は、近鉄高田駅利用については200円となります。これは、奈良交通路路線バスの高田新家線の料金を考慮したものとしております。今後も十分な啓発活動等を行って、利用者を増やしていきます。

委員 : この会議は年間で何回あるのか

事務局 : 例年3回程度ではありますが、今年度は、再編をするため3回以上となる見込みであります。

会長 : ほかにありませんか。会議を閉じさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

事務局 : 次回の会議は6月20日を予定しています。正式に後日通知を差し上げます。

会長 : 本日は、お忙しい中ありがとうございます。引き続き、ご協力を賜ります。

(以上)